

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）。

東京大学大学院理学系研究科・理学部物理学教室
教員

1. 助手 1名
2. (1) 大学院理学系研究科・理学部物理学教室：山本智助教授と協力して研究・教育を行う。
3. 星間分子の実験室での分光学的研究や望遠鏡を用いた観測的研究。
5. (1) 決定後なるべく早い時期。
6. 博士の学位（取得見込みを含む）を有するか、またはそれと同等以上で、上記研究分野に意欲的に取り組む方。これまでの経験は問わない。
7. ①履歴書 ②論文リストおよび主要論文別刷（5篇以内各1部） ③自薦の場合、研究歴と抱負（2000字程度）、応募者に関して意見を述べられる方2名の氏名と連絡先。他薦の場合、推薦書。
8. 平成5年10月22日（金）必着。
9. (1)(2)〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学理学部物理学教室
山本 智、電話 03(3812)2111 内線 4197。
10. 封筒の表に“応募書類在中”と朱書きの上、簡易書留でお送り下さい。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 教授 1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻（天文学宇宙学講座）
(2) 東京都文京区弥生2-11-16
3. 天文学
4. 天文学の研究と教育（大学院天文学専攻及び理学部天文学科を担当）
5. 平成6年4月以降なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、又はそれと同等以上の方
7. ①履歴書 ②研究・教育活動歴 ③研究論文リスト及び主要論文別刷 ④研究計画書 ⑤（他薦の場合）推薦書
8. 平成5年10月25日（月）必着

9. (1)(2)〒113 東京都文京区弥生2-11-16
東京大学大学院理学系研究科 天文学専攻長 尾崎洋二
TEL：03-3812-2111 ext 4256, 4254
10. 「天文学専攻教官公募書類在中」と朱書して、簡易書留でお送り下さい。

東京大学理学部天文学教育研究センター教員

1. 教授 1名
2. (1) 東京大学理学部天文学教育研究センター
(2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 天文学（主に観測面に重点を置いた研究分野を進展させることに意欲的な方。尚、現員の研究分野は、観測的宇宙論、銀河、銀河系、恒星、太陽、電波、赤外、及びシュミット望遠鏡による天文学です）
4. 天文学の研究及び教育（平成6年度の大学院重点化により理学系研究科天文学専攻の大学院専任教官となる予定ですが、学部教育にも協力していただくことがあります）
5. 平成6年4月以降なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. ①履歴書 ②研究教育活動歴 ③研究論文リスト及び主要論文の別刷 ④研究計画書 ⑤（他薦の場合）推薦書
8. 平成5年10月25日（月）必着
9. (1) 東京都三鷹市大沢2-21-1
東京大学理学部天文学教育研究センター
センター長 辻 隆
(2) 上に同じ TEL：0422-34-3639（ダイヤルイン直通）
10. 「天文学教育研究センター教官公募書類在中」と朱書して、簡易書留でお送り下さい。

平成6年度国立天文台

外国人客員教授候補者の推薦

1. 外国人客員教授については、今回から国内公募を行います。ただし、国立天文台所属の受け入れ責任者を通じての応募に限ります。
2. 公募分野は以下の4部門です。
 - 1) 光学赤外観測（光学赤外線天文学研究系）
 - 2) 天体物理基礎理論（理論天文学研究系）
 - 3) 電波天文観測（電波天文学研究系）
 - 4) 地球力学（地球回転研究系）
3. 推薦される候補者がある場合は、受け入れ責任者とは相談の上、所定の申請書を作成し関連資料（略歴・論文リスト）を添えて、9月17日までに管理部庶務

課(共同利用係)あてご提出下さい。申請書書式その他については共同利用係あてお問い合わせ下さい(電話:0422-34-3660)。

古在由秀(国立天文台台長)

(財)宇宙科学振興会、 平成5年度(第3回)研究助成

宇宙科学振興会(関本忠弘・理事長)は、次のとおり研究助成候補者を募集している。

1. 助成対象:宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者(昭和28年4月2日以降生まれの者に限る)
2. 助成件数及び助成金額:1件300万円
3. 応募期限:平成5年10月31日<必着>
4. 照会先:(財)宇宙科学振興会事務局
〒229 神奈川県相模原市由野台
3-1-1 TEL 0427-51-1126

東レ科学技術賞・研究助成

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。応募用紙は日本天文学会までご請求下さい。

- I. 東レ科学技術賞(概要)
 1. 候補者の対象……貴学協会に関する分野で、下に該当するもの
(1)学術上の業績が顕著なもの
(2)学術上重要な発見をしたもの
(3)重要な発明をして、その効果が大きいもの
(4)技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
 2. 科学技術賞……1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円、2件前後。
 3. 候補者推薦件数……1学協会から2件以内
 4. 学会必着日……平成4年9月24日(金)
- II. 東レ科学技術研究助成(概要)
 1. 候補者の対象……貴学協会に関する分野で基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者、またはそのグループ。冒険的な研究も対象とする。
 2. 研究助成……総額1億3千万円前後、10件程度。必要と認められる場合には最大1件3,000万円程度まで助成する。
 3. 候補者推薦件数……1学協会から2件以内

4. 学会必着期日……平成4年9月24日(金)

第8回 西宮湯川記念理論物理学シンポジウム 「相対論的宇宙論」

日時:1993年10月28日(木)~29日(金)

場所:西宮市立夙川公民館

(〒662 兵庫県西宮市羽衣町1-39)

電話 0798-33-1928)

内容:量子宇宙論,インフレーション宇宙,大域的構造,重力レンズ,位相的欠陥,重力波天文学,ブラックホール,数値相対論,等に関する招待講演

講演予定者:J. R. Bond (CITA) *

T. Futamase (Hirosaki)

I. Moss (Newcastle)

T. Nakamura (Kyoto)

B. Peterson (A.N.U.)

S. Shapiro (Cornell) *

D. Spergel (Princeton)

E. Turner (Princeton)

A. Vilenkin (Tufts)

R. Vogt (Caltech)

C. Will (Washington)

定員:200名

参加申込締切:1993年9月20日(月)

参加費:7,000円(プロシーディングス,バンケット代一部負担金を含む)

参加申込方法等は下記にお問い合わせ下さい。

連絡先:〒606-01 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部物理学第二教室

佐々木 節

Tel 075-753-3883

Fax 075-753-3886

天文学会々費の振り込みについて

従来,学会費の納入には,郵便振替,銀行振込,現金送付・直接納付がありますが,これに加えて新しく,銀行自動引落方式を採用しようと考えています。現在集金事務代行業者と検討中ですので,確定しましたら次号で具体的な方法をお知らせ致します。

天文学会の財政検討状況について

昨年度会計事情が逼迫したことに関して、財政建て直し策を理事会、評議員会、総会等で議論していただきました。それらをふまえ、現在の状況について報告いたします。会員数が増加して、年会の講演数や、天文月報の内容の刷新、また欧文研究報告の体裁一新等、種々の活動が活発になってきております。一方、それらを支える財政基盤もそれに見合う対応が求められており、会員諸氏のご理解とご協力をお願い致します。

1. 会費改定について

特別会員および通常会員の会費の値上げについては、この間理事会・評議員会で議論を行ない、春季年会時の総会で検討を進める方向で議論していただきました。引き続き皆様のご検討をお願いいたしますが、8月に開催予定の理事会に以下の案を提案して具体的な案を決定する予定です。その具体案を10月の秋季年会時に議論していただき、その後の評議員会で決定した後、1994年度会費から実施する予定です。なお、会費納入に関して、前年度末(3月末)までに完納されるようにご協力をお願い致します。以後納入が遅れた場合、送付手数および経費削減のため、半年後に天文月報等の刊行物の送付を止めさせていただきます。それ以降再登録の場合には、督促等にかかる手数料をお願いいたします。また、会費納入の効率化について、検討を行ないます。最後に、会員の皆様には現状をご理解いただき、会費や年会参加費納入の折などに寄附(2,000~5,000円程度)をしていただくことをお願いいたします。

現在	改定案	
特別会員会費		
16,000	18,000	一般
12,000	14,000	学生
通常会員会費		
6,000	8,000	

月報等刊行物送付中止

1.5ヵ年後 0.5ヵ年後

2. 欧文研究報告について

春季年会時の総会で、価格の改定について検討を進めることを了承して頂きました。A4判化にともなう掲載料の実質的な大幅値下げが財政逼迫の一つの要因であったことにかんがみ、掲載料および別刷代について、必要な価格の是正を検討いたします。これらは同じく本年8月の理事会に提案して実行案を決定し、10月の投稿分から実施の予定です。ご意見のある方は理事会あるいは近くの理事にご連絡下さい。一方、TeX化に向けて、TeX

の完成度が高い原稿の掲載料軽減をはかるため、完成度のレベルによる投稿料設定・実現時期についての検討を開始し、1年をめぐりに早急に方針を決定・具体化する予定です。掲載料・別刷代の改定案は、掲載料軽減化の要求が強いことを勘案して、上記の実質的値下げを全額元に戻すのではなく、改定幅を実質値下げ量の半額程度と極力おさえた以下の案を提案する予定です。

	現在	改定案	
掲載料:	3,600 p	4,500 p	(p:頁数) (注1)
	3,600 p	6,000 p	(注2)
別刷代:	10 np	20 np	(n:別刷部数)

注1:第一著者が特別会員で、かつ TeX 原稿の場合

注2:注1の場合以外

3. 天文月報について

印刷・製本・送料などの諸経費削減のため、1号あたりの頁数を今年度は原則として44頁におさえます。購読料、別刷代、広告料の値上げを行なうとともに、広告掲載を広く関連企業に依頼します。さらに現在の財政事情にかんがみて、原稿料の削減をはかるため、原稿料を一部寄附していただくことを著者にお願いいたします。また、投稿原稿に対して、印刷経費が削減可能となる一部の計算機可読形式(MS-DOS プレーンテキストフォーマット)の場合を除いて原稿料を実質的に値下げしました(1ページ当たり800円)。トレースが必要な図版に対しても実費相当額を原稿料から差し引かせて頂きます。さらに、原稿の返却は事務手数の軽減も考慮して希望者以外を行なわないことにします。個別購読料は10月から現行の550円を700円に値上げし、それ以外は4月以降順次事前に了解を得て実施しています。別刷代、広告料は約20%の値上げです。広告依頼については郵送勧誘のほか、理事長はじめ各実務理事が直接会社訪問を行なう予定です。

4. その他

年会予稿集のA4判化と2講演/頁化を本年秋季年会から行ないます。予稿集のフォーマットが変更されますのでご注意ください。また予稿集を特別会員全員に配布することにせず、希望者に別売する方向で検討しています。

本学会の活動をますます意義あるものとするとともに、年会参加者および講演者への入会の呼びかけを行ない、非会員の登壇料徴収の実施を検討します。会費については振込の手数を軽減するために、会費の自動振込が行なえるように手続きを進めています。

以上財政の健全化のための各種案を検討し、ご提案させていただきました。会員諸氏には重ねてご理解とご協力をお願い致します。

(会計理事)